

聖書をどのように読んでいますか

「**どう読みますか**」。 [ルカ 10:26](#)

97 番の歌 神の言葉によって生きる

何を学ぶか*エホバに仕える私たちは、**聖書を毎日読むよう努力**しています。聖書を読んでいる人たちはほかにもいますが、その多くは内容を正しく理解できてはいません。イエスの時代にもそのような人たちがいました。イエスが彼らに語った言葉から、**聖書を読む時に意識したい大切なことを学べます。**

1. イエスが聖書を大切にしていたことはどんなことから分かりますか。

イエスの話を聞いているところを想像してみてください。イエスは**たくさんの聖句を引用**して教えます。しかも、そうした**聖句を覚えている**のです。イエスは**いつも聖書から語る人**でした。**バプテスマを受けた後**に語った言葉も、**亡くなる直前に語った言葉も**、**聖書からの引用**でした。*イエスはバプテスマを受けて聖なる力を注がれた時、**天にいた時の記憶がよみがえったもの**と思われる。(マタ 3:16 何と、**天が開き**) ([申 8:3](#) 神はあなたを謙遜にならせ、空腹にならせて、あなたもあなたの父たちも知らなかった**マナ**を食べさせました。それは、**人がパンだけで生きるのではなく、エホバの口から出る全ての言葉によって生きる**、ということをあなたに知らせるためでした。[詩 31:5](#) 私は**命(*生命力)をあなたの手**に託す。真理の(*信頼できる)神エホバ、あなたは私を救って(d*買い戻して)くださった。[ルカ 4:4](#) しかしイエスは答えた。「『人はパンだけで生きるのではない』と書いてあります」;[23:46](#) イエスは大声で叫んだ。「**父よ、私の命をあなたの手**に託します」。こう言ってから、息を引き取った) **地上**で伝道を行った**3年半の間**、イエスは人々の前で**聖書を朗読**したり**引用**したり**説明**したりしました。(マタ 5:17, 18 私が律法や預言者の言葉を取り消すために来た、と考えてはなりません。取り消すためではなく、実現するために来ました。18 はっきり言いますが、**律法から最も小さな文字 1 つや文字の 1 画が消え去るよりも、天地が消え去る方がまだ早い**でしょう。**記されたことは全て起きる**のです、[21, 22](#) あなたたちは、古代の人々がこう命じられたのを知っています。『殺人をしてはならない。殺人を犯す人は法廷に引き出される』。22 しかし私は言います。仲間(d*兄弟)に対して憤りを抱き続ける人は皆、法廷に引き出されます。**ひどく侮辱的な言葉を仲間に言う人は最高法廷に引き出されます**。また、『どうしようもない愚か者!』と言う人は、火の燃えるゲヘナに投げ込まれます、[27, 28](#) あなたたちは、こう命じられたのを知っています。『**姦淫をしてはならない**』。28 しかし私は言います。**女性を見続けて情欲を抱く人は皆、すでに心の中で姦淫をした**のです。[ルカ 4:16-20](#) イエスは自分が育った土地**ナザレ**に来た。そして、**安息日の自分の習慣通り、会堂に入り、朗読のために立ち上がった**。17 **預言者イザヤの巻物が手渡**されると、巻物を開いて、こう書いてある所を見つけた。18 「**エホバの聖なる力が私の上にある。神が私を選び(*), 貧しい人に良い知らせを告げるようにさせた**からである。私は神から遣わされて、**捕らわれている人に釈放を、目が見えない人に視力の回復を知らせ、打ちのめされた人を解放し、19 エホバに受け入れられる年を伝える**」。20 イエスは巻物を巻き、それを係の人に返して、腰を下ろした。会堂にいた全ての人の目がじっとイエスに注がれた)



イエスは生涯にわたって、聖書の言葉を愛し、学んだことを実践した。(2節を参照。)

2. イエスはどのようにして聖書のことをよく知るようになりましたか。(表紙の絵を参照。)

2 イエスは伝道を始めずと前から、聖書を読んだり聖書の朗読を聞いたりしていました。幼い時には、家族の会話の中でヨセフやマリアが聖書のことを話すのを聞いていたはず。*マリアは聖句をよく知っていて、それを会話に含めたこともあります。(ルカ 1:46-55) 貧しかったヨセフとマリアは、自分用の聖書を手に入れることができなかつたと思われます。会堂で聖書が朗読される時、それを真剣に聞いていたので、後で思い起こすことができたのでしょう。(申 6:6, 7 私が今日命じるこれらの言葉があなたの心に入っていないければなりません。7 あなたはその言葉を自分の子にしっかり教え(*繰り返し言い/銘記させ)、家で座るときも、道を歩くときも、寝るときも、起きるときもそれについて話さなければなりません) また、安息日には家族と一緒に会堂に通っていたことでしょう。(ルカ 4:16 イエスは自分が育つた土地ナザレに来た。そして、安息日の自分の習慣通り、会堂に入り、朗読のために立ち上がった) そこで聖書の朗読を真剣に聞いていたに違いありません。やがて、イエスは自分でも聖書を読むようになります。こうしてイエスは聖書のことをよく知るようになりました。それだけでなく、聖書の言葉を愛し、学んだことを実践するようにもなりました。律法に詳しかつた教師たちも、12歳のイエスと神殿で話した時、「[イエス]の理解力と答えにとつても驚」きました。(ルカ 2:46, 47 やつと3日後に、イエスが神殿で教師たちの真ん中に座り、話を聞いたり質問をしたりしているのが見つかつた。47 イエスが話すのを聞いていた人は皆、その子の理解力と答えにとつても驚いていた、52 イエスは引き続き成長し、ますます賢くなり、神と人から好意を受けていった)

3. この記事ではどんなことを学びますか。

3 私たちも毎日聖書を読むなら、聖書のことをよく知つて愛するようになります。でも、ただ聖書を読めばいいのでしょうか。律法教師やパリサイ派やサドカイ派の人たちは、聖書をよく読んでいて律法に通じていましたが、大切なことを学び損なっていました。イエスが彼らに語つた言葉から、聖書を読む時に意識したい点を3つ学べます。(1) 読んだ内容を理解すること、(2) 宝のような真理を見つけること、(3) 学んだことに合わせて自分を変えることです。

読んだ内容を理解する

4. ルカ 10章 25-29節からすると、聖書を読む時に大切なのはどんなことですか。

4 聖書を読む時には、意味をよく理解するようにしましょう。そうでないと、大切な点を学び損なつてしまうかもしれません。イエスと「律法に通じた男性」のやり取りを考えてみましょう。

(ルカ 10:25-29) さて、律法に通じた男性が立ち上がり、イエスを試そうとして言った。「先生、永遠の命を受けるには何をする必要がありますでしょうか」。26 イエスは言った。「律法には何と書いてありますか。どう読みますか」。27 その男性は答えた。「『あなたは、心を尽くし、力を尽くし、知力を尽くし、自分の全てを尽くして、あな

たの神エホバを愛さなければならない』，そして、『隣人を自分自身のように愛さなければならない』」。28 イエスは言った。「その通りです。それを*行い続けなさい*。そうすれば命を得ます」。29 しかしその男性は、*自分の正しさを示そうとして*イエスに言った。「私の隣人とはいつたい誰でしょうか」を読む。) この男性は、*どうすれば永遠の命を得られるかと質問*しました。それに対して、イエスは聖書に注目させ、「*律法には何と書いてありますか。どう読みますか*」と尋ねます。男性は、*神を愛することと隣人を愛することが必要だ*，と聖書から正しく答えました。(レビ 19:18 隣人に復讐をしたり，恨みを抱いたりしてはならない。仲間を自分自身のように愛さなければならない。私はエホバである。申 6:5 あなたは，心を尽くし，力(*活力/資力)を尽くし，自分の全て(へ語ネフェシュ)を尽くして，あなたの神エホバを愛さなければなりません)でもイエスに「私の隣人とはいつたい誰でしょうか」と聞きました。この人は聖書の言葉を知っていましたが，その意味を十分に理解してはいなかったということです。それで，聖書をどのよう*に当てはめたらよいかも分かっていません*でした。

読んだ内容を理解するスキルは磨くことができる。

5. 聖書を理解する上で，折ることやゆっくり読むことはどのように役立ちますか。

5 聖書を理解するためには，*良い読み方*をすることが大切*です*。まず，*読む前にエホバに祈ります*。集中して読み，*内容を理解*できるよう，*聖なる力を求める*ことができます。次に，*ゆっくり読む*ようにしましょう。そうすれば*内容をよく理解*できます。*声に出して*読んだり，*オーディオ版*を聞きながら読んだりするのも効果的です。*視覚と聴覚の両方を使うと*，*心に深く印象付ける*ことができ，*記憶にも残りやすくなる*ります。(ヨシュ 1:8 この律法の書について語るのをやめて(d*書が口から離れて)はいけない。あなたはそれを*昼も夜も小声で読ま(*思い巡らさ)なければ*いけない。そこに記されている全てのことを*注意深く守る*ためである。そうすればあなた(d*あなたの道)は成功し，*賢く行動*できる)そして，*読み終わったならエホバに もう一度祈ります*。聖書を与えてくださったことへの*感謝を伝え*，*学んだことを実践*できるように*助けて*ください，とお願いすることができます。



*メモを取りながら読む*と，内容をよく理解することができ，*記憶にも残りやすくなる*。(6節を参照。)

6. 自分に問い掛けたり，メモを取ったりしながら読むとよいのはどうしてですか。(写真も参照。)

6 聖書をよく理解するために，*ほかにもできることを2つ*考えてみましょう。1つ目は，*自分に問い掛けながら読む*ことです。*登場人物は誰か，誰が誰に*向かって話しているか，*どうして*そう言ったのか，*いつどこで*起きた出来事か，といった点を考えます。そうすれば，*話の流れをつかみやすくなる*でしょう。2つ目は，*メモを取りながら読む*ことです。*考えを文字にすると*，*頭の中を整理*することができ，*記憶にも残りやすくなる*ります。*次のようなことをメモ*できます。①*あらすじ*や②*要点*，③*調べて分かったこと*，④*学べること*，⑤*自分の感想*，⑥*どのように実践*できる

かなどです。そうするなら、聖書の言葉をエホバから自分へのメッセージと感じられるようになるでしょう。

7. 聖書を理解するためには何が必要ですか。どうしてですか。 ([マタイ 24:15](#))

7 イエスは、聖書を理解するためには識別力が必要だと教えました。 ([マタイ 24:15](#) ですから、荒廃をもたらす極めて不快なものが、預言者ダニエルが語った通り、聖なる場所に立っているのを見掛けるなら (読者は識別力を働かせなさい) を読む。) 識別力とは、2つの考えの関連や違いを把握する能力のことです。識別力があるなら、物事の表面には現れていない部分を見抜くことができます。イエスの言葉から分かる通り、聖書の預言が実現していることを理解するためにも識別力が必要です。

8. 聖書を読む時、どのように識別力を働かせることができますか。

8 エホバは私たちに識別力を与えてくださいます。それで、識別力を働かせることができるように助けてください、とエホバに祈りましょう。 ([格 2:6](#) エホバご自身が知恵を与えてくださるからである。神の口から知識と識別力が出る) それに加えて、聖書を読む時には内容をよく分析し、すでに知っていることとの関連を考えるようにします。「エホバの証人のためのリサーチガイド」などの出版物も活用できるでしょう。そうするなら、聖句の意味や、どのように自分に当てはめられるかが分かります。 ([へブ 5:14](#) 一方、固い食物(*よくかんで食べる物)は、十分に成長した人(*大人)のためのものです。そのような人は、使うことによって識別力(*知覚力)を訓練したので、正しいことも悪いことも見分けることができます) 識別力を働かせて聖書を読むなら、内容をもっとよく理解できるようになります。

宝のような真理を見つける

9. サドカイ派の人たちはどんな大切な真理を受け入れていませんでしたか。

9 サドカイ派の人たちは、モーセ五書の内容をよく知っていました。でも、そこに書かれている大切な真理を受け入れていませんでした。ある時、サドカイ派の人たちは、復活の教えに関してイエスに言い掛かりをつけました。それに対してイエスはこう言いました。「モーセが書きたいばらの木に関する記述の中で、神がモーセに『私はアブラハムの神、イサクの神、ヤコブの神である』と言ったのを読まなかったのですか」。 ([マル 12:18](#) 復活などはないと言うサドカイ派の人たちがやって来て、こう尋ねた、[26](#) 死者が生き返ることに関しては、モーセが書きたいばらの木に関する記述の中で、神がモーセに『私はアブラハムの神、イサクの神、ヤコブの神である』と言ったのを読まなかったのですか) サドカイ派の人たちはこの聖句を何度も読んでいたはずですが、亡くなった人が復活するという大切な真理を受け入れていなかったのです。 ([マル 12:27](#) この方は死んだ人の神ではなく、生きている人の神です。あなた方はひどい考え違いをしています。[ルカ 20:38](#) この方は死んだ人の神ではなく、生きている人の神です。彼らは皆、神にとっては生きているのです) *「ものみの塔」2013年2月1日号の「[神に近づく — 『この方は..... 生きている者の神なのです』](#)」という記事を参照。

10. 聖書を読む時にはどんなことを意識できますか。

10 この記述からどんなことが分かるでしょうか。聖書を読む時には、その聖句から学べることをできるだけたくさん見つけることが大切です。基本的な教えだけで満足するのではなく、宝のように隠されている聖書の教えや原則も探すようにしましょう。

11. 聖書から宝のような真理を見つけるためにどんなことができますか。 (テモテ第二 3:16, 17)

11 聖書を読む時、どうすれば宝のような真理を見つけられるでしょうか。 [テモテ第二 3 章 16, 17 節](#) 聖書全体は神の聖なる力(*)の導きによって書かれたもので、教え、戒め、矯正し、正しいことに基づいて指導するの役に立ちます。 17 それにより、神に仕える人は十分な能力を持つことができ、あらゆる良い活動を行う用意が完全に整います。よると、「聖書全体」は、(1) 教え、(2) 戒め、(3) 矯正し、(4) 指導するのに「役に立ちます」。(読む。) 普段あまり注目しないような聖句であっても、この 4 つの役立つ点を見つけられます。まず、「その聖句は、エホバやエホバの目的や原則についてどんなことを教えているだろうか」と考えましょう。自分を戒める面でどのように助けとなるかも考えましょう。その聖句は、自分の良くない点に気付いてそれを正し、エホバに仕え続けるためにどのように役立つでしょうか。矯正するという面では、「伝道で会う人の間違った見方を正すために、どのように使えるだろうか」と考えられます。そして、エホバと同じ考え方ができるように自分を訓練し、指導するのに役立つ点も探すことができます。こうした 4 つの点を意識しながら聖書を読むと、宝のような真理をたくさん見つけることができるでしょう。

学んだことに合わせて自分を変える

12. イエスがパリサイ派の人たちに、「読んだことがないのですか」と言ったのはどうしてですか。

12 イエスは、聖書を間違った態度で読んでいたパリサイ派の人たちに、「**読んだことがないのですか**」と言いました。([マタ 12:1-7](#) その頃、イエスは安息日に穀物畑を通った。弟子たちは空腹になり、穀物の穂をむしって食べ始めた。 2 これを見てパリサイ派の人たちがイエスに言った。「見なさい、あなたの弟子たちは安息日にはいけないことをしています」。 3 イエスは言った。「ダビデが、自分と仲間が空腹になった時に何をしたか、読んだことがないのですか。 4 ダビデは神の家の中に入り、皆で供え物のパンを食べました。それは彼も仲間も食べてはならず、祭司だけが食べてよいものでした。 5 また、安息日に神殿にいる祭司たちが安息日を守らなくても罪にならないことを、律法の中で読んだことがないのですか。 6 しかしあなた方に言いますが、神殿より偉大な者がここにいます。 7 あなた方は、『私が望むのは憐れみであって、犠牲ではない』ということの意味を理解していたなら、罪のない人を断罪したりはしなかったでしょう) * [マタイ 19 章 4-6 節](#) でもイエスはパリサイ派の人たちに、「あなた方は読まなかったのですか」と言いました。彼らは創造についての記述を読んではいましたが、そこから結婚に対する神の見方を読み取ることができていませんでした。この時彼らは、イエスの弟子たちが安息日を守っていないと批判しました。それに対してイエスは、聖書中の 2 つの出来事とホセアの聖句に触れ、パリサイ派の人たちが安息日の意味を理解しておらず、憐れみに欠けていることを指摘しました。彼らは聖書を読んでいたのに、どうしてそれに沿った考え方や行動ができなかったのでしょうか。謙遜ではなく、ほかの人を批判するような態度で読んでいたからです。それで、聖書を本当の意味で理解することができていませんでした。([マタ 23:23](#) 偽善者である律法学者とパリサイ派の人たち、あなた方には災いがあります！ ミント、ディル、クミンの 10 分の 1 を納めながら、律法の中のもっと重大な事柄、すなわち公正と憐れみと忠実(*信仰)を無視しているからです。10 分の 1 を納める必要はありますが、後者を無視すべきではありません。 [ヨハ 5:39, 40](#) あなた方は聖書によって永遠の命を受けられると考えて、それを調べています。それこそ私について証言するものです。 40 それなのに、あなた方は命を受けるために私の所に来ようとしません)

13. どんな態度で聖書を読むことが大切ですか。 どうしてですか。

13 イエスの言葉から、**正しい態度で聖書を読むことの大切さ**が分かります。パリサイ派の人たちのようにはなりたくありません。**謙遜**であり、**意欲的に**学ぶようにしましょう。聖書の「言葉を**温和に受け入れ**、それが**心に植え付けられるように**してください」。(ヤコ 1:21 ですから、あらゆる汚れや、どんな小さい悪をも(if*あふれるほどの悪)捨て去ってください。そして、皆さんを**救うことができる**言葉を温和に受け入れ、それが心に植え付けられるようにしてください) **温和**で**柔らかい心**があるなら、聖書の言葉を**当てはめやす**くなります。**謙遜**であって初めて、**憐れみや思いやりや愛**について**学び**、学んだことに合わせて**自分を変えることができる**のです。



聖書に合わせて自分を変えているかどうかはどなたのところに表れますか。(14節を参照。)***写真や挿絵**: 王国会館での集会で**音響関係**の兄弟が**幾つもミス**をしてしまった。でも**集会后**、兄弟たちはその**ミスではなく誠実な努力**に目を留めて褒めている。

14. 自分を聖書に合わせて変えているかどうかは、どんなことから分かりますか。(写真も参照。)

14 **聖書に合わせて自分を変えているか**どうかは、**人との接し方**に表れます。**パリサイ派**の人たちは聖書の言葉が**心に達していなかった**ので、「**罪のない人を断罪し**」ていました。(マタ 12:7 **あなた方は、『私が望むのは憐れみであって、犠牲ではない』**ということの意味を理解していたなら、**罪のない人を断罪したりはしなかったでしょう**) **ほかの人に対する自分の見方や接し方**について、次のように考えてみましょう。**人の良いところ**について**いつも話している**でしょうか。それとも、**できていないところを批判**することが多いでしょうか。**誰かが間違い**をした時、**進んで許す**でしょうか。それとも、**根に持**ったり**厳しく責め**たりするでしょうか。このように**分析**するなら、**自分の考え方や感じ方や行動を聖書に合わせて変えているか**どうか**分かります**。(テモ一 4:12 **あなたが若いからといって、誰にも見下されないようにしなさい。かえって、言葉や振る舞い、また愛、信仰、清さ(*貞潔さ)の点で、忠実な人たちの手本**となってください、**15** これらのことについてよく考え(*黙想し)、**打ち込みなさい**。そうすれば、あなたの**進歩は誰の目にも明らか**になるでしょう。**へブ 4:12** **神の言葉は生きていて、力を及ぼし、どんな両刃の剣よりも鋭く、人の外面(ギ語プシュケー)と内面(ギ語プネウマ)、骨(d*関節)と骨髄を分けるほど深く刺し通して、心の中にある考えや願いを明らかにすることができ**ます)

聖書を読んで幸せを味わう

15. イエスは聖書についてどう感じていましたか。

15 **イエス**は**聖書を愛**していました。そのことは、**詩編 40 編 8 節** **私の神、あなたの望まれることを喜んで行います(*望まれることを行うのは私の願いです)。** **あなたの律法は私の奥深くにあります**でこう預言されていました。「私の神、**あなたの望まれることを喜んで行**います。**あなたの律法は私の奥深くにあります**」。このように**イエスは聖書を愛していたので、幸せを味わい、エホバに忠実に仕え続けることができました**。私たちが**聖書を心から愛する**ようになるなら、**幸せを味わいつつエホバに仕**

えていくことができます。(詩 1:1-3 何と幸せなのだろう。悪人の意見に従って歩まず、罪人の道に立たず、あざける人と共に座らない人は。2 その人はエホバの律法を喜び、昼も夜も小声で読む(*思い巡らす)。3 水の流れるのほりに植えられた木のようになり、時期が来ると実を結び、その葉は枯れない。行うことは全て成功する)

16. 聖書から多くのことを学ぶためにどんなことをしたいと思いますか。(「イエスの言葉から学べる聖書の読み方」の囲みを参照。)

16 この記事では、イエスの言葉や手本について学びました。私たちも聖書を読むスキルを磨いていくようにしましょう。聖書をよく理解するために、祈り、ゆっくり読み、自分に問い掛けたりメモを取ったりしながら読むことができます。出版物を活用して聖句を分析し、識別力を働かせるようにしましょう。普段あまり注目しないような聖句からも、宝のような真理を見つけることができます。正しい態度で聖書を読み、聖書に合わせて自分を変えていくようにしましょう。こうした点で努力するなら、聖書からたくさんのことを学び、エホバともっと親しくなることができます。(詩 119:17, 18 私に親切を示してください。あなたの言葉を守って生きるために。18 私の目を開いてください。あなたの律法にある素晴らしいことをはっきり知るために。ヤコ 4:8 神に近づいてください。そうすれば、神は近づいてくださいます。罪人たち、手を清めてください。優柔不断な人たち、心を清めてください)

イエスの言葉から学べる聖書の読み方

- 内容を理解する。識別力を働かせて、自分にどう当てはめられるかを考える。(マタ 24:15 ですから、荒廃をもたらす極めて不快なものが、預言者ダニエルが語った通り、聖なる場所に立っているのを見掛けるなら(読者は識別力を働かせなさい)。ルカ 10:25-37 さて、律法に通じた男性が立ち上がり、イエスを試そうとして言った。「先生、永遠の命を受けるには何をする必要がありますでしょうか」。26 イエスは言った。「律法には何と書いてありますか。どう読みますか。」)
- 聖句をよく調べて、宝のような真理を見つける。(マル 12:18-27 24 イエスは言った。「そのような考え違いをするのは、聖書も神の力も知らないからではありませんか。25 生き返る時、男性も女性も結婚しません。天使のようになります。26 死者が生き返ることに関しては、モーセが書いたイバラの木に関する記述の中で、神がモーセに『私はアブラハムの神、イサクの神、ヤコブの神である』と言ったのを読まなかったのですか。27 この方は死んだ人の神ではなく、生きている人の神です。あなた方はひどい考え違いをしています」)
- 聖書に合わせて自分を変え、人への接し方を改善する。(マタ 12:1-8 3 イエスは言った。「ダビデが、自分と仲間が空腹になった時に何をしたか、読んだことがないのですか。7 あなた方は、『私が望むのは憐れみであって、犠牲ではない』ということの意味を理解していたなら、罪のない人を断罪したりはしなかったでしょう。)

聖書を読む時、どんなことができますか

1. 内容を理解するために

・S05 1. 良い読み方をする ことが大切です。まず、①読む前にエホバに祈ります。集中して読み、内容を理解できるよう、聖なる力を求める。次に、②ゆっくり読むようにする。声に出して読んだり、オーディオ版を

聞きながら読んだりするのも効果的。③読み終わったならエホバにもう一度祈り、聖書を与えてくださったことへの感謝を伝え、学んだことを実践できるように助けてください、と願います。

・S06 **2. 自分に問い掛けながら読む**。①登場人物は誰か、②誰が誰に向かって話しているか、③どうしてそう言ったのか、④いつどこで起きた出来事か、といった点を考える。**3. メモを取りながら読む**。考えを文字にすると、頭の中を整理することができ、記憶にも残りやすくなる。次のようなことをメモできる。①あらすじや②要点、③調べて分かったこと、④学べること、⑤自分の感想、⑥どのように実践できるかなど

・S07-08 **4. 識別力が必要**なので、**識別力を働かせることができるように助けて**ください、とエホバに祈る。聖書を読む時には**内容をよく分析し、すでに知っていることとの関連を考える**ようにする。「エホバの証人のための**リサーチガイド**」などの出版物も活用するなら、**聖句の意味や、どのように自分に当てはめられるかが分かるようになる**。

2. 宝のような真理を見つけるために

・S10 聖書を読む時には、**その聖句から学べることをできるだけたくさん見つける**ことが大切。基本的な教えだけで満足するのではなく、**宝のように隠されている聖書の教えや原則も探す**ようにする。

・S11 **テモテ第二 3 章 16-17 節**から、「その聖句は、**エホバやエホバの目的や原則**についてどんなことを**①教えて**いるだろうか」と考える。自分を**②戒める**面でどのように助けとなるかも考える。その聖句は、**自分の良くない点に気付いてそれを正し、エホバに仕え続けるためにどのように役立つ**のでしょうか。**③矯正**するという面では、「**伝道で会う人の間違った見方を正すために、どのように使える**だろうか」と考えられます。そして、**エホバと同じ考え方ができるように自分を訓練し、④指導**するのに役立つ点も探すことができる。こうした**4つの点を意識しながら聖書を読む**と、宝のような真理をたくさん見つけることができる。

3. 聖書に合わせて自分を変えるために

・S13 **正しい態度で聖書を読む**ことの大切さが分かる。パリサイ派の人たちのようにではなく、**謙遜**であり、**意欲的**に学ぶようにする。**温和**で**柔らかい心**があるなら、聖書の言葉を当てはめやすくなる。**謙遜**であって**初めて、憐れみや思いやりや愛について学び、学んだことに合わせて自分を変えることができる**。

・S14 **ほかの人に対する自分の見方や接し方**について、次のように考えてみる。①**人の良いところ**についていつも話しているか。それとも、**できていないところを批判**することが多いか。②誰かが間違いをした時、**進んで許すか**。それとも、**根に持ったり厳しく責めたりする**か。このように**分析**するなら、**自分の考え方や感じ方や行動を聖書に合わせて変えているかどうか分かる**。

・S15 イエスは聖書を愛していたので、幸せを味わい、エホバに忠実に仕え続けることができた。私たちも**聖書を心から愛するようになるなら、幸せを味わいつつエホバに仕えていくことができる**。

95 番の歌 光は明るさを増す

△ エホバに仕える私たちは、聖書を毎日読むよう努力しています。聖書を読んでいる人たちはほかにもいますが、その多くは内容を正しく理解できてはいません。イエスの時代にもそのような人たちがいました。イエスが彼らに語った言葉から、聖書を読む時に意識したい大切なことを学べます。

△ イエスはバプテスマを受けて聖なる力を注がれた時、天にいた時の記憶がよみがえったものと思われま。 ([マタ 3:16](#))